

保健体育科学習指導案

日時 平成24年11月7日(水) 第5校時

13:40~14:30

対象 第1学年A、B組 女子32名

授業者 世田谷区立駒沢中学校教諭 栗橋 亜紀子

場所 校庭

「ミニゲームの工夫」

1 単元名

「球技(ソフトボール)」

2 単元目標

- ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開すること。
- ・積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

3 単元の評価規準

観点	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能	エ 知識・理解
単元の評価規準	・球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	・球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	・競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。
学習活動に即した具体的な評価規準	① 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ② フェアなプレイを守ろうとしている。 ③ 分担した役割を果たそうとしている。 ④ 作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ⑤ 仲間の学習を援助しようとしている。 ⑥ 健康・安全に留意している。	① ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ② 自己やチームの課題を見付けている。 ③ 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ④ 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。 ⑤ 学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。	① 攻防を展開するために肩越しでのバットの構え、タイミングを合わせた打撃などの基本的なバット操作ができる。 ② 全力疾走での塁への駆け抜け、減速、反転による塁上での停止ができる。 ③ ゆるい打球に対応した捕球、大きな動作での送球、正面の送球をうけることができる。 ④ 守備位置での準備姿勢、ポジションごとの基本的な動きができる。	① 球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ② 技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ③ 球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ④ 試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

4 指導観

(1) 単元観

- ・個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- ・ベースボール型とは身体やバットの操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手チームより多くの得点を競う合うゲームである。

(2) 生徒観

① 運動や学習への意識に関するアンケート調査結果（調査対象：1年A・B組女子29名）

項目	回答	「はい」・「好き」	「いいえ」・「嫌い」
ボールを投げるのは得意ですか？		51%	48%
バットでボールを打つことができますか？		55%	44%
野球やソフトボールなどのベースボール型の球技を経験したことがありますか？		68%	31%
野球やソフトボールなどのベースボール型の球技に興味がありますか？		75%	24%
野球やソフトボールなどのベースボール型の球技が好きですか？		62%	37%
理由		・投げるのが好きだから ・ルーキーズのドラマを見て、楽しそうと思った ・次の塁に着いた時や、相手が進むのを止めた時におもしろさを感じるから ・みんなと協力してできるから ・父が野球をやっていて小さい頃から遊んでいたから	・ルールがよくわからない ・走るのが苦手だから ・こわいから ・ボールを打つことが難しいから

② 調査結果について

- ・31%の生徒がベースボール型の球技を経験しておらず、ルールや運動の特性を知らないことが予想される。
- ・ボールを投げる技術は48%の生徒が、バットでボールを打つ技術は44%の生徒が苦手意識をもっている。
- ・ベースボール型の球技が好きではない理由に、ルールがわからないからという意見がある。

③ 調査をふまえて

- ・ベースボール型の特性であるバット操作やボール操作ができるように道具を工夫していく。
- ・ルールは1時間に1つずつ増やしていき、メインゲームにそのルールを適用することにより、理解させていく。
- ・ボールを投げる基本的な練習を毎回行っていく。
- ・タイミングを合わせた打撃ができるように、バント練習を行っていく。

5単元の指導計画と評価計画（時間扱い）→3評価規準から設定

時間	学習計画・内容	評価計画・方法
1	オリエンテーション、ルールの説明、班分け	ア① エ①（行動観察・学習ノート）
2	簡単な道具で投げたり捕ったり打ったりしよう	イ① エ②（行動観察・学習ノート）
3	打ったら1塁に走ろう 打者より早く守備コーンを倒そう	ア③ イ④（行動観察・学習ノート）
4	打ったらできるだけ進塁しよう 打者より早く守備コーンを倒そう	ア⑤ イ①（行動観察・学習ノート）
5	打ったらできるだけ進塁しよう フォースアウト、タッチアウトを狙おう	ア② ウ③（行動観察・学習ノート）
6 【本時】	自分達で決めたポジションで守備をし、アウトをとろう できるだけ点数を取るために走塁しよう	ア④ イ① ウ④ （行動観察・学習ノート）
7	1塁に走者がいたときの守備と打撃を考え、やってみよう	ウ① ウ② （行動観察・学習ノート）
8	2塁に走者がいたときの守備と打撃を考え、やってみよう	ア② ウ④（行動観察・学習ノート）
9	トスパッティングゲーム	ア④ イ② エ③ （行動観察・学習ノート）
10	スローピッチゲーム	イ③ ウ③ エ④ （行動観察・技能チェック）

6指導に当たって

（1）場の工夫

- ・練習場所を中心から外側に向かわる形をとることによって、ぶつかりにくくした。

（2）学習形態の工夫

- ・ボールはTボール用のものを使用し、硬いボールへの恐怖心を少なくした。
- ・初期の練習では4～5人組で1班とし、中期の練習では7～8人組で1班とした。

（3）小学校との系統制

	小学校5・6年生	中学校1・2年生	中学校3年生
バット操作	・止まったボールを打つ、易しい ボールを打つ	・肩越しでのバットの構え ・水平になるようなスイング ・タイミングを合わせた打撃	・体の軸を安定させたスイング ・高さやコースへのタイミング ・ねらった方向への打ち返し
ボール操作	・移動を伴う捕球 ・オーバーハンドスロー	・ゆるい打球に対応した捕球 ・大きな動作での送球 ・正面の送球をうける	・最短距離で移動した捕球 ・一連の動きでの送球 ・タイミングよく送球を受けたり中継したりする
ボールをもたない時の動き	・簡易化されたゲームでの状況に応じた走塁	・全力疾走での塁への駆け抜け ・減速、反転による塁上での停止 ・守備位置での準備姿勢 ・ポジションごとの基本的な動き	・円を描く走塁 ・打球に応じた進塁 ・進塁先のベースカバー ・中継プレイに備える動き ・ダブルプレイに備える動き

7本時（全10時間中の第6時間目）

（1）本時のねらい

- ・ポジションを決めてその位置で守備をすることができる。
- ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。
- ・ボールを持たないときの動きを理解している。

（2）本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準
導 入	・集合、整列、挨拶 ・本時の学習内容の確認 ・キャッチボールランニング、準備運動	・出欠、忘れ物や服装を確認し、指示を与える。 ・本時のねらいを説明する。 ・目標を設定させ、達成できるようにペアで話し合いながら走らせる。	
展 開	・壁あて ・キャッチボール ・対面パス ・バントトスバッティング ・投げノック ・満塁ゲーム	・フォームを意識して投げさせる。 ・目標の数を設定させ、続くように声を出すなどの協力が必要なことを伝える。 ・ローテーションを決めさせ、スムーズに練習し、タイミングを合わせたバッティングができるように構えを確認させる。 ・中継プレーができるようにするためには、声が必要なことを伝える。 つまずき支援 ・打てない生徒にはバントで進塁するようにアドバイスをする。 ・どこを守れば素早くアウトがとれるかを考えさせ、作戦を立てさせる。	ア④ウ④ （観察）
終 末	・集合 ・ノート記入 ・本時のまとめ ・安全確認、整理運動 ・挨拶	・どこを守ればよいか考えたポジションを記入させる。	イ① （学習ノート）

（3）授業観察の視点

- <ねらい> ・話し合いは積極的に行われていたか。
- ・ボールを持たないときの動きを理解し、ノートに書いているか。
- ・ねらいにそったミニゲームだったか。